日本アルプス縦断 山行記録 (報告) 神戸勤労者山岳会創立50周年記念

無積雪期 - 積雪期 ピークハントラウンド - 縦走

無槓雪期 横雪期 ニークハント フリント 縦定	
山域	南アルプス・赤石岳(湯折~小渋川~広河原ルート)~荒川岳~塩見岳
日程	2015.08.07~11
メンバー	L田中ま、西
アクセス	【往路】名神、中央道松下~湯折(林道終点) 【復路】鳥倉登山口(タクシー)~湯折 湯折(車)、中央道松下、名神
コースタイム	8月8日:07:00湯折駐車場-07:30七釜橋-10:30広河原小屋着-15:50大聖寺平-16:15荒川小屋 8月9日:04:47荒川小屋発-06:50赤石岳07:15-08:55荒川小屋09:30-11:20中岳- 12:25荒川岳12:45-13:50中岳-14:22前岳-16:45高山裏避難小屋 8月10日:05:30高山裏避難小屋発-09:30小河内小屋10:00-11:50烏帽子岳12:00- 12:36三伏峠小屋 8月11日:03:45三伏峠小屋発-04:40本谷山-06:05塩見小屋-07:08塩見岳西峰-07:15塩見岳東峰07:45-09:55本谷山-11:02三伏峠小屋着-11:57下山開始-13:40鳥倉登山口着
感想・コース 状況	●8月7日 21時過ぎに神戸を出発、12時過ぎ湯折の林道ゲート前に到着。7~8台程度の駐車スペース ●8月8日 ゲートを出発後約30分で林道終点の七釜橋に到着、左岸側の工事用道路が途切れると度重な る渡渉の始まり。今回の渡渉は20回くらい。いずれも膝上程度で沢登り経験者が沢用シューズを 履いていれば特に苦労はしない。ハーネスとロープを装備していたものの、今回は不要だった。このルートを何度も訪れている方がちょうど下山してきたので話を伺ったところ、水量は普通との事だった。きちんと事前に調べておけば特に迷いそうな点もなく、約3時間で広河原小屋に到着。大変なのは小屋から稜線までの上り。テント泊縦走装備に加えて濡れた沢道具(以後4日間ただの重りです)を背負って高温多湿の中、大汗をかきながらよる。しんどかった!! ●8月9日 テント泊装備をデポしたまま、赤石岳までピストン。日の出をみながらまだ涼しい中を快適に上る。その後は全装備を背負って荒川岳攻略。荒川岳のあとはさらにハード。前岳からは激下りでゴロゴロの岩で足を挫かない様に慎重に下る。目指す高山裏避難小屋は水場が遠い事から途中の水場(水量少ない)で水を汲み、ようやくテント場に到着したのは16:45分。約12時間の行動で心身ともに疲れたが、この日までに赤石岳~荒川岳を繋げた! ●8月10日 今日は休息日。とはいっても停滞ではなく、これまでの12時間超えの歩きでないだけで7時間の移動日。高山裏避難小屋を出てからは、お花畑や気持ちの良い森林帯を抜けていく非常に気持ちの良い道。塩見岳エリアと赤石岳&荒川岳エリアをつないで一気に3山縦走する人はぐっと人が少なくなるのか、静かで雄大な雰囲気の中を楽しめた。13時前には三伏峠小屋に到着、水場へは往復20分かかるが、水量は豊富でこっそり体も洗わせていただきました。●8月11日 午後から天気が崩れるとの山小屋情報から2時半起床3時45分出発で塩見岳を目指す。出発後しばらくは暗かったが、その後は幻想的な雰囲気の中、暑さに苦しむ事なく塩見岳登頂。「みんなでつなごう日本アルプス」の記念旗と一緒の記念撮影ではNさんとがっちり握手!赤石岳~荒川岳~塩見岳とつなぐ事ができました。

写真



さあ、出発!



小渋川の冷たい水の渡渉を繰り返します。

